

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/  
E-mail:gyoren@kagawa-  
gyoren.or.jp



**JF** 高松市北浜町 8-25  
TEL 087-825-0350  
JF 香川漁連 FAX 087-851-0699

## 服部会長 黄綬褒章受章

11月3日、政府は秋の褒章受章者を発令した。県下水産関係では、本会服部会長が永年に亘り水産業の振興発展に貢献された功績により、黄綬褒章の荣誉に浴され、16日には伝達式のあと天皇陛下に拝謁された。

服部会長は、平成5年に引田漁協の組合長に就任し平成14年には相生漁協との合併を実現した。また、平成7年に本会理事、翌8年に副会長、平成14年には会長に就任した。平成17年からは信漁連会長にも就任しており、両連合会及び傘下会員の発展と組織基盤強化に向けた舵取り役として全力を傾注している。

さらに、基金協会など県内の種々漁業団体の代表を務めるとともに、中央においては、全漁連理事、同総合政策部会長、共水連理事、農水省水産審議会委員などを務め、本年6月には中・四国ブロックから初の全漁連会長に就任し、日本の水産振興に意欲的に取り組まれている。



喜びの服部会長ご夫妻

JF全漁連

## 漁協運動功労者表彰

名和基延

津田漁業協同組合代表理事組合長



全漁連は、11月21日平成19年度(第22回)漁協運動功労者表彰の式典と祝賀会を東京・虎ノ門パストラルで開催した。この表彰は、漁協系統運動の推進・発展に功労のあった者に対し、全漁連が表彰しているもので、本年度は全国で35名の受賞者があり、

本県からは名和基延氏が受賞された。

名和組合長は、1964年に組合監事に就任、1973年から理事に就任し、1976年にはその人格、見識及び指導力を認められ代表理事組合長に就任した。また、本会理事、信漁連理事、香川県東部漁連の代表理事会長等を歴任し、水産金融の円滑な運営を図るとともに、漁業経営の安定に大きく貢献した。現在は本会代表監事に就任。また、1995年には多くの県民の支持を受け県議会議員に当選して以来、本県の水産行政に尽力され、本県漁業振興に多大な貢献をされている。

社団法人大日本水産会

## 水産功労者表彰

竹 沢 忠 本会代表理事専務



大日本水産会は、11月10日平成19年度の水産功績者49名を発表した。この表彰は、明治23年以来水産業の振興発展に功績のあった方々を水産功績者として毎年表彰しており、本年度本会竹沢専務が表彰された。表彰式は、28日に桂宮宣仁親王殿下ご台臨

のもと東京で行われた。

竹沢専務は、昭和37年本会に入会して以来、45年の長きにわたり本会業務に精励、本県水産業の発展に尽力されている。平成5年常務理事に就任、平成14年には代表理事専務に就任している。

## 第1回たかまつ市場フェスタ開催

高松市と高松市中央卸売市場運営協議会は、卸売市場の役割や流通の仕組みを広く市民に周知するとともに、生鮮食料品等の流通の円滑化と消費拡大および市民と卸売市場との交流を図ることを目的に、11月11日(日)午前9時30分から、高松市中央卸売市場で「第1回たかまつ市場フェスタ」を開催した。

この市場フェスタは、平成12年までは27回の歴史を持つ「たかまつ市場まつり」として開催されていたが、諸般の事情により一時休止していたものを内容を大幅に見直し7年振りに再開、販売主体の内容から体験コーナーを多く設け、市場関係者と市民がよりふれ合えるように趣向が凝らされての開催となった。

オープニングセレモニーでは、主催者を代表して大西高松市長の挨拶、平井国土交通副大臣他来賓の挨拶、テープカットの後オープンとなり、来場者はそれぞれのお目当てのコーナーに足を運んでいた。

オープン直後の模擬せりでは、香川県魚市場山本社長の発声でせり人がステージへと上がり、威勢のいい掛け声を響かせ、参加者は次々と新鮮な魚を安価で競り落としていた。魚の捌き方教室では、鮮魚組合の組合員らが講師を務め、アジ、サバ、イワシなどの捌き方を参加者に伝授し、お魚の普及に努めていた。他にもマグロの解体ショーや鮮魚・水産加工品・野菜・果物・花などの展示即売、魚のつかみ取り体験など盛り沢山の内容で、来場者は普段入ることのできない場内を興味深そうに散策しながらイベントを楽しんでいた。また、香川県漁連からは「おさかなシャトル」が出展協力し、シャトル水族館の泳ぐお魚の展示で訪れた子供等を楽しませていた。



子供たちに大人気の魚のつかみ取り体験

香川の食を考える青空シンポジウムも同時開催され、「今、香川の食は～あなたは思う～」をテーマに、看護師や小学校教諭、料理研究者らパネラーがそれぞれの立場で香川の食を分析、会場からの意見も取り入れながら、今そしてこれからの香川の食についてパネルディスカッションを実施、大いに盛り上がっていた。

約8,500人の来場者でにぎわったフェスタも、午後3時には閉会となり、沢山の荷物を抱えた市民が家路を急いでいた。今回のフェスタは、体験コーナーが多く参加型のイベントとして来場者からは大変好評を博していたようで、来年第2回開催にも大いに期待をしたい。

## 第27回全国豊かな海づくり大会 びわ湖大会開催

11月10、11日、滋賀県大津市において、天皇・皇后両陛下をお迎えし「この湖(うみ)を守る約束 未来のために」を大会テーマに第27回全国豊かな海づくり大会が開催された。本県から13名が参加した。会場には、2日間で予想を上回る3万人が来場し盛況であった。

式典では、服部大会推進委員会会長(ＪＦ全漁連会長)が大会決議を朗読、満場の拍手をもって採択された。

来年は、9月6・7日新潟市で開催予定。

### 主な行事予定(12/1～1/4)

- 12月 7日(金) ワーサン100実行委員会
- 11日(火) 県予算要望
- 13日(木) 全国漁業代表者集会(東京)
- 15日(土) 第1回乾のり入札
- 16日(日) 服部会長黄綬褒章受章祝賀会
- 21日(金) 理事会
- 25日(火) 第2回乾のり入札
- 28日(金) 仕事納め

平成20年

1月 4日(金) 仕事始め